市はどこへ消えたのか

― 五日市の歴史を現代の交流空間へ ―

五日市の歴史に残る「市」の風景を手がかりに、人々の活動が自然に
重なり合う空間を現代の交流施設として再構築する。

一、 すべては市から始まった。

五日市は市を中心に人や物が集まることでまちが形成されてきた。
つまり、このまちの始まりは建物の集合体ではなく、**「市」という人々の営み**であった。

二、市は人をつないだ。

当時の市では、売買だけでなく、会話や休憩など、多様な活動が一つの空間で自然に行われていた。
世代や目的の異なる人々が偶然に出会い、**交流が生まれること**こそ、市が持つ本質的な価値ではないだろうか。

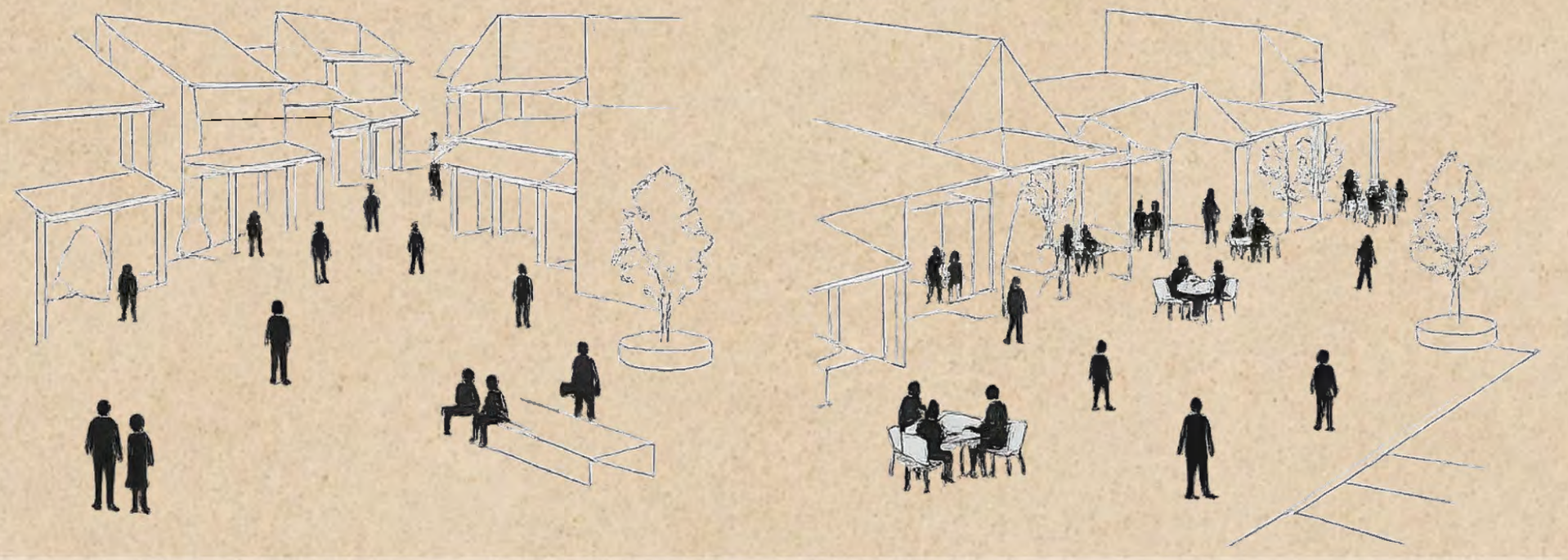
三、市は姿を消した。

敷地

現在の駅前では、**人々が偶然に出会い、関係を築く機会**は少なくなっている。

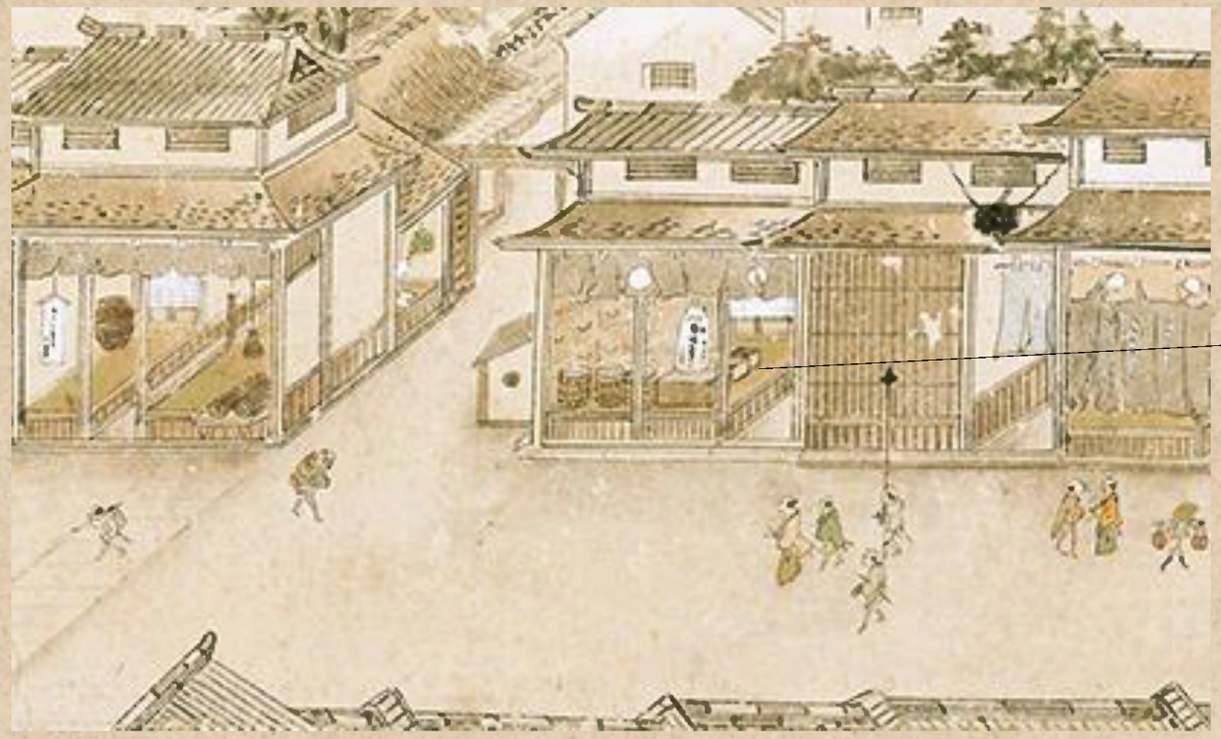
四、市は取り戻せるか。

問題提起



市のように、多様な世代や立場の人々が同じ空間を共有し、自然な交流が生まれる空間を、現代の建築によって再構築できないだろうか。

五、軒は市に広がる。

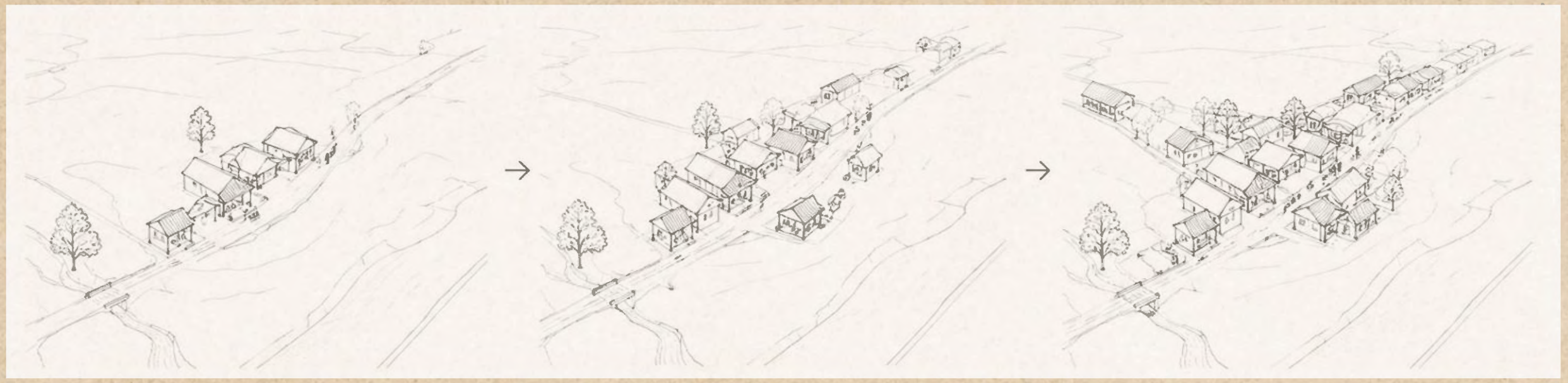


市の特徴である、多様な活動が一つの空間で自然に重なり合う軒下の風景を継承し、従来は建物に付随する建築要素であった軒を都市レベルへと拡張することで、交流や休憩など、多様な活動を受け止める新たな都市空間として提案する。

六、増築が余白を生む。

増築ダイヤグラム

従来の市



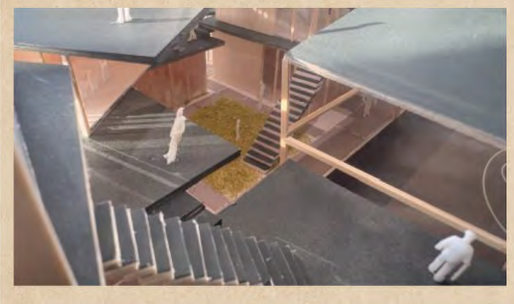
本計画

五日市は人の営みを中心に道に沿って横方向へと広がった。この**成長の考え方を継承**し、横への広がりを縦へと置き換えた。
用途や活動に応じて建物を積み重ねることで、**人の営みとともに成長する建築**を表現する。

七、市の風景を描く。

配置図兼1階平面図

01　交流の庭

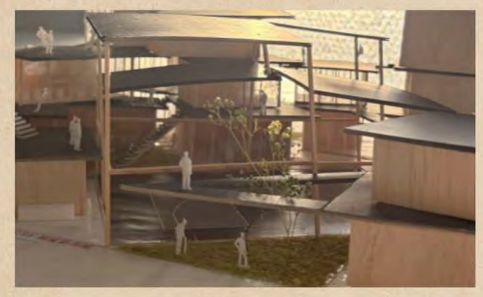


人々が自然に集い、会話や休憩、交流が生まれる、**まちの中心となる居場所**を形成する。

02　マルチコート

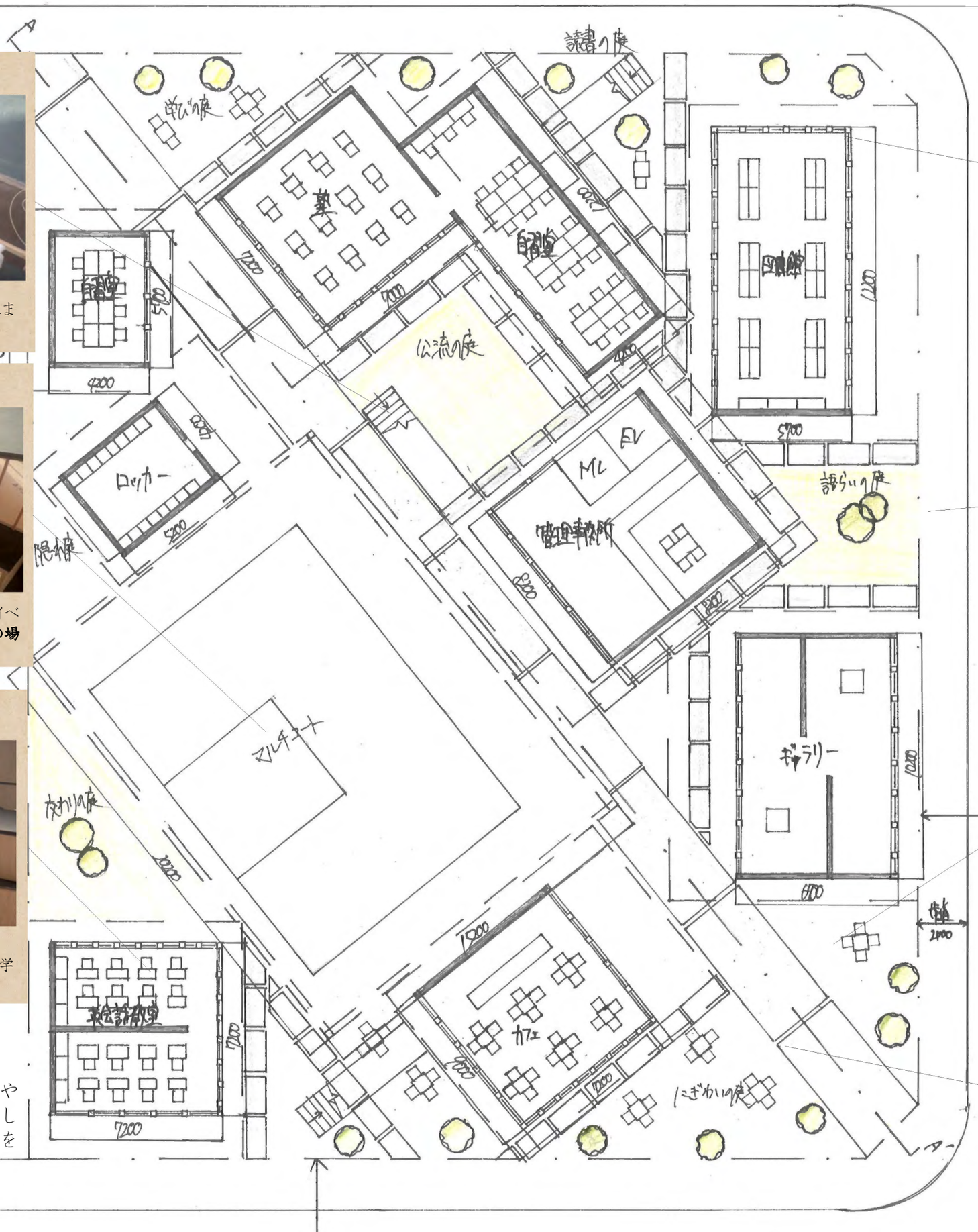
市のにぎわいを現代に再構築し、スポーツやイベントをきっかけに、**多様な世代が交わる交流の場**を創出する。

03　交わりの庭



異なる活動が交差する中間領域として、見学や観戦をきっかけに**新たなつながり**を促す。

市の道を軸に、多様な用途を路地や庭でゆるやかにつなぐ平面構成とした。人々の偶発的な出会いや交流を育む市の風景を形成している。



04　図書館

読書空間をまちへ開き、本を読む人の気配がにじみ出ることで、**新たな立ち寄りや交流**を生み出す。

05　語らいの庭

人の流れが交わる場所に植栽を設け、滞在や語らいを促すことで、**自然なつながり**が生まれる空間を形成する。

06　市の道

かつての市のにぎわいを受け継ぎ、多様な用途を結びながら、**人の流れと交流**を生み出す**中心軸**とする。

07　カフェ

市の道に開いたカフェとして、人の流れを受け止め、**多様な世代が集う居場所**を生み出す。

07屋根のずれにより生まれる空間

段差や軒下が自然な居場所となり、座る、休む、作業する、会話するなど、多様な活動を受け止める。

10ケーキ屋

路地やテラスで過ごす時間を豊かにする。滞在や会話のきっかけとなる場所を形成する。

11展示室

地域や利用者の作品を展示し、多様な活動を発信する。人々が立ち止まり、交流が生まれる場を形成する。

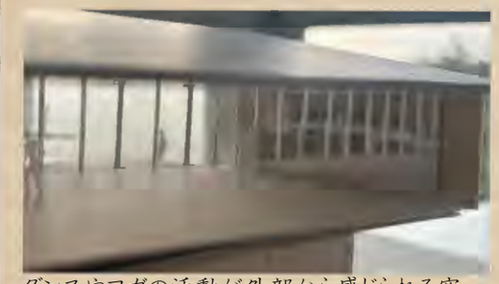
08アイス屋

上階から市の道や庭の賑わいを眺めながら過ごせる場所。滞在と交流をゆるやかにつなぐ拠点となる。

09ワークショップ

制作活動を外へ開くことで、人々の視線や動線が重なり、自然な交流や新たな参加を生み出す。

02ヨガ、ダンス教室



ダンスやヨガの活動が外部から感じられる空間。人々の視線を引き込み、新たな参加や交流のきっかけを生み出す。

2·3階はテラスや外階段によって立体的に回遊できる構成とした。

人の営みが建築を育て、建築がまちを育てる。

建築は完成した瞬間が終わりではない。地域の活動や人々の暮らしに合わせて増築や改修を繰り返しながら、新たな風景を育んでいく。**市から始まった歴史は、まち、そして都市へと発展し、未来へ受け継がれる新たな歴史を刻み続ける。**

現在

50年後

100年後

秘密基地

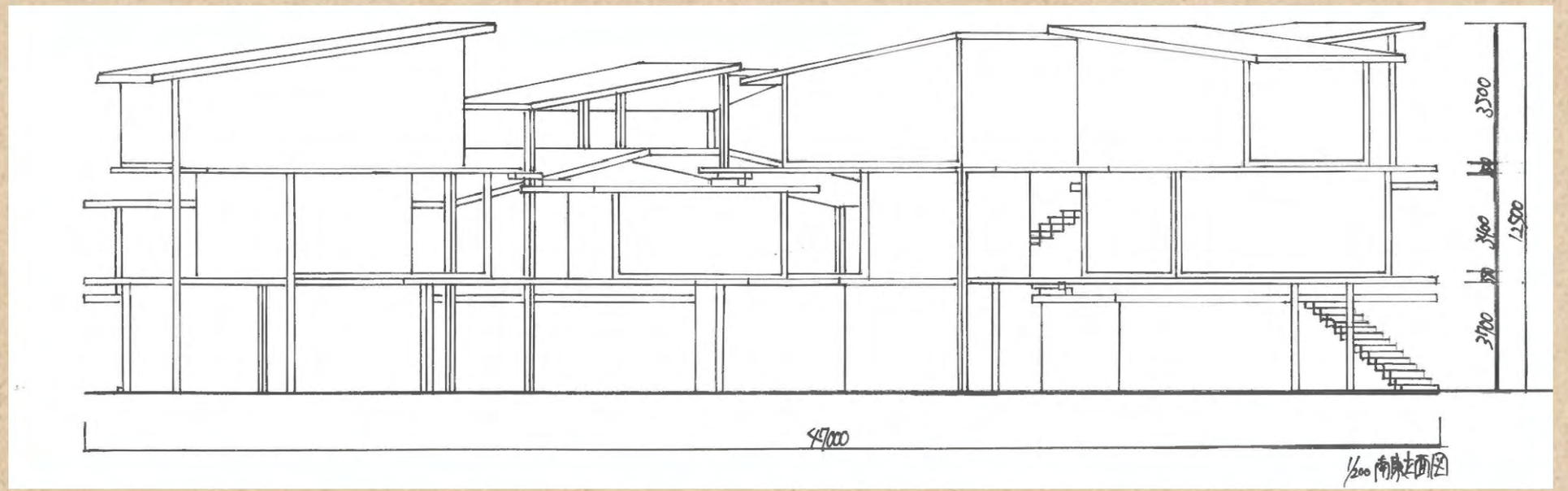
階段の裏や建物の隙間などに隠れた小さな空間。
子どもだけでなく、大人の書斎や昼寝スペースなどが現れる。

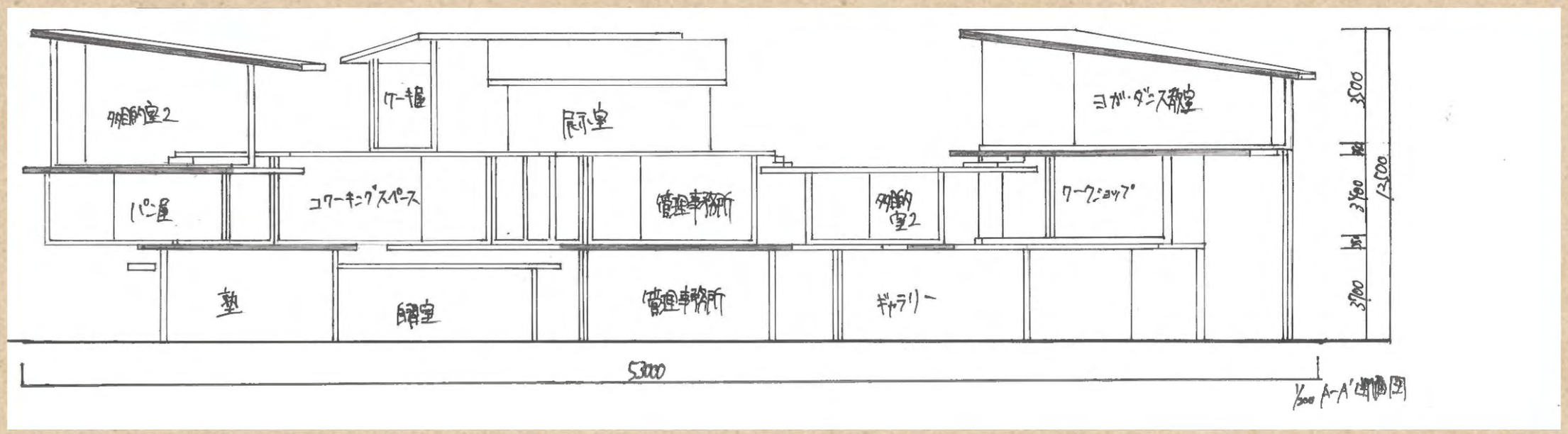
縁側

建物の外と内を緩薬につなぐ中間領域。
貸しかけたり、隣の人と自然に会話が生まれる場所。

ベンチ、テラス

各々が配置することで、m居場所を作る。
縁側の延長としても機能し、多様な活動を受け止める。


3500
3400
12500
3700
47000
1/200 南側立面図


勉強室2
ケーキ屋
展示室
パン屋
コワーキングスペース
管理事務所
勉強室2
ヨガ・ダンス教室
ワークショップ
塾
自習室
管理事務所
ギャラリー
3500
3600
3700
12500
53000
1/200 A-A'断面図